

学びのイノベーション事業及びフューチャースクール推進事業の実施に係る  
京都市地域協議会第3回会議

1 日時

平成 24 年 6 月 1 日（金） 14 : 00～16 : 00

2 会場

京都市立桃陽総合支援学校会議室

3 次第

(1) 開会

(2) 委員紹介

(3) 議事

ア 平成 24 年度実施計画について

イ 協議, 指導助言等

ウ その他

(4) 閉会・挨拶

## 京都市地域協議会 第3回会議録（概略）

### (1) 開会・挨拶

- 中東校長から挨拶
  - ・今年度の教職員の状況，教育目標について

### (2) 委員紹介

- 各委員から自己紹介

### (3) 議事

- ア 第2回地域協議会以降の経過，報告書追加事項について
- 事務局から説明

#### イ 平成24年度実施計画

- 事業推進体制（地域協議会委員）の変更について
- 総務省ガイドライン2012について
- 桃陽総合支援学校長から概要説明
  - ・研究の拡充，ICT環境のさらなる活用，本来校との交流のあり方や災害時対応の検討
- 桃陽総合支援学校研究主任から研究・研修について説明
  - ・本年度研究テーマ
  - ・教科での取組（昨年度末にリモート顕微鏡が完成）
  - ・今年度の新たな取組（音楽科でのシステム開発研究）
  - ・複式学級での活用，児童生徒会活動への
  - ・本籍校との交流（移行支援，合同授業）
  - ・学習状況に関する検証について（対象生徒を抽出，出席状況の変化，医療に向かう姿勢など）
  - ・研修計画（「使う」研修から，「中身」の研修に）
- 情報化推進総合センター指導主事からその他について説明
  - ・「ガイドライン2012」DVD視聴による事業概要の確認
  - ・音楽科を研究対象としたシステムの開発について
  - ・災害時の対応マニュアル作成
  - ・ICT支援員
  - ・ホームページによる情報発信

ウ 協議，指導助言等

○23 年度の取組と成果

- ・学習指導において ICT が日常的に活用できるようになったこと。
- ・本来校との交流学习の成果。
- ・病気治療への効果について。(治療に向かう気持ちが高まった。)
- ・ICT を使ってできるようになったことについて児童生徒・保護者・教職員から高い評価。
- ・本校と分教室の一体感が増した。

○24 年度の事業実施に向けて

【評価】

- ・教員は本事業を良好に受け止め，取組への高い意欲が見られる。
- ・病院へ無線 LAN を設置するために，教育委員会が学校と病院の仲介をしたのは大きな成果。
- ・入院中に小→中に進学する子どものスムーズな移行を含め，本来校との連携を密にし，移行支援を適切に行う必要がある。
- ・本来校の子どもたちの成長にもフィードバックされる取組。
- ・子ども個々の状況に応じた「授業づくり」をどうするかに尽きる。

【課題】

- ・入院期間の短期化への対応について。
- ・保護者の理解，事業取組の周知方法，保護者向けアンケート。
- ・病院スタッフとの連携，医療従事者の思い(声)の受け皿。
- ・(入院による)本来校との遮断不安を解消するための交流や支援(退院へ向けての移行支援を含む)のあり方を検討する。
- ・今後に向けて事例の提示や京都市以外の学校との交流も念頭に。また，交流を拒否する子どもへのフォローのしかたを検討する。
- ・桃陽が中心となって，本来校への情報提供を行い，情報交換を進めることが必要。
- ・将来的な目標を見据えて，学校教育目標と取組とのリンクを図る。
- ・ICT 活用を含めて，子どもたちの社会性(判断力・自制力・責任感)の育成が必要であり，さらにそのことの検証を実施することが望ましい。
- ・教員の ICT 活用指導力や子どもの変容を観察する力の向上を図っていく。
- ・アンケート分析に関して，解析ソフトなどの有効活用。
- ・教育行政側の担当各課がチームとして一体となり，事業を進める必要がある。
- ・音楽科のシステム開発については，音声遅延の解消など技術的にも難しいものがある。

(4) 中東校長から閉会の挨拶

## 第3回会議 参加者

### 1 地域協議会委員等

(敬称略)

氏名	所属・役職
滝川 国芳	国立特別支援教育総合研究所統括研究員【座長】
山村 節子	全国特別支援学校病弱教育校長会副会長，全国病弱虚弱教育研究連盟理事長 (静岡県立天竜総合支援学校長)
桶谷 守	京都教育大学教育支援センター教授 (コミュニティ・スクール研究推進委員長)
黒田 知宏	京都大学准教授，京都大学医学部附属病院医療情報企画部副部長 〔公務のため欠席〕
神月 紀輔	京都ノートルダム女子大学心理学部准教授
大畑 眞知子	京都市立藤城小学校長 (京都市小学校長会副会長)
森本 哲	京都市立松原中学校長 (京都市立中学校教育研究会情報教育部会会長) 〔公務のため欠席〕
藤谷 貞之	京都市立鳴滝総合支援学校長
(氏名 略)	京都市立桃陽総合支援学校保護者代表 (PTA会長 代理)
柴原 弘志	京都市教育委員会指導部長【副座長】 〔公務のため欠席〕
川井 勝博	京都市教育委員会指導部情報化推進総合センター所長【プロジェクトリーダー】
中東 朋子	京都市立桃陽総合支援学校長

### 2 校内推進委員会(プロジェクト)

京都市立桃陽総合支援学校教員

京都市教育委員会 総合育成支援課指導主事

京都市教育委員会 総合教育センター指導主事

京都市教育委員会 情報化推進総合センター指導主事

### 3 その他

ICT 支援員

西日本電信電話株式会社京都支店

エヌ・ティ・ティ・コム チェオ株式会社

### 4 事務局

京都市教育委員会 情報化推進総合センター